

慶野松原カップ 反省ミーティング

議事録（記録：穴見知典 / 日時：6月13日20時～）

■ 大会運営の振り返り

- スタッフ体制は最低限の人員で対応。海上の船はサイズ指定がなかつたため大型になり、今後は小型を明示して手配。
- **水上バイクは高額（1日約6.5万円）**のため、来年はすべて漁船を活用予定。
- JWAとして運営機材を徐々に自前化していく。

■ 成功点

- **地元との連携（玉ねぎブース等）**が好評。来年も協力的な姿勢が期待される。
- 観客や初参加者、プロ選手との交流イベントが高評価。
- **SNS運用（ライブ配信含む）**が一定の効果あり。ただし配信は視聴数が少なく、コストとのバランス要検討。

■ 課題と改善点

- **施設の不備（シャワーなど）**は地元側で改善予定。
- 風待ち時の過ごし方のマニュアル化、YouTube活用などが必要。
- 運営体制の強化（岩崎さんを海上本部長に、新人育成、資格保持者の確保）。
- 安全対策の強化。

■ 費用・収支について

- 船・ジェットとともに高額で、収入約90万円でも赤字見込み。
- スポンサーの必要性あり（沖田さん等と連携）。
- 収支報告は今後共有予定。

■ 来年に向けて

- 開催継続の意向あり。開催時期と場所の再調整が必要。
- コース設営の再検討（定置網の影響あり）。
- ライブ配信の見直しも含め、費用対効果を精査。

■ その他

- フォイル3戦目は1月末の浜名湖を候補に検討中（寒さ対策を要計画）。
- 掛川でのサーフスラロームも今後検討予定。